

テサロニケ人への手紙Ⅱ（テサロニケ教会の皆さんへⅡ）

パウロは、最初の手紙のあと、すぐにこの手紙を書きました。前回と同様、キリストがもう一度来られることが、その主題です。テサロニケの教会では、このことが大きな問題だったからです。それというのも、キリストはもう来てしまったと言いふらして、人々をあわてさせる者がいたからです。中には、それをいいことに、仕事もせず、毎日ぶらぶらするだけの者もありました。そうしたデマにのせられたり、怠惰に流れることを、パウロはきつく戒めています。

—

1 パウロとシルワノとテモテから、私たちの父なる神と主イエス・キリストに守られている、テサロニケの教会の皆さんへ。

2 どうか、父なる神と主イエス・キリストが、あふれるばかりの祝福と平安とを、あなたがたに与えてくださいますように。

3 愛する皆さん。私は、神様にたいへん感謝しています。それは、あなたがたの信仰がめざましく成長し、お互いがますます深い愛で結ばれているからです。それを思うと、自然に神様に対する感謝の思いがわき上がってきます。もちろん感謝して当たり前のことですが。4 激しい迫害と困難の真ただ中にあるにもかかわらず、あなたがたが忍耐しつつ、神様への完全な信仰を守っていることを、他の教会に大いに誇っています。5 それは、神様のさばきが公平に、また正しく行なわれている証拠です。なぜなら、神様は、苦しみを経験させることによって、あなたがたに神の国に入る資格を与え、6 同時に、迫害する者たちには、その報いとして、さばきと刑罰とを下されるからです。

7 そういうわけで、困難のただ中にある、あなたがたに言っておきます。主イエス・キリストが、力ある御使いたちを従えて、燃え立つ炎の中に、突如として天から姿を現わされる時、神様はあなたがたにも私たちにも、休息を与えてくださるのです。8 その時、神様には目もくれなかった者や、主イエス・キリストによる神様の救いの計画を拒んだ者には、恐るべきさばきが下ります。9 彼らは、永遠の地獄で刑罰を受け、主の前から追放されて、二度と栄光に輝く主の力を見ることはないのです。10 その日、おいでになった主は、ご自分に属するクリスチャンのために成し遂げたそのお働きのゆえに、誉れと賞賛とをお受けになります。そして、私たちが伝えた神様のことばを信じ抜いたあなたがたは、主と共に生きる者となるのです。

11 そのためにも、いつも、あなたがたのことを思って祈っています。どうか、神様が、あなたがたの信仰を評価して、神様のおめがねにかなう、良い子供としてくださいますように。12 そうすれば、神様によって変えられたあなたがたを見て、すべての人が主イエス・キリストの名を賛美するようになるでしょう。そして、あなたがたも、主のものになるという、願ってもない栄光を受けます。神様と主イエス・キリストの恵みによって、そうしていただけるのです。

二

12 さて、主イエス・キリストがもう一度来られることと、その時、一堂に集められた私たちが、主にお会いすることについては、どう考えていますか。愛する皆さん。主の日はもう来たなどという、うわさを耳にして、興奮したり、あわてたりしないでください。たとい、このことについて幻を見たとか、神様から特別のお告げを受けたとか言う人が現われても、また、私たちからのもののように偽造した手紙をちらつかされても、信用してはいけません。3 どんなことを言われても、惑わされたり、だまされたりしないように気をつけなさい。

なぜなら、主の日は、次の二つの現象が起こるまでは実現しないからです。まず、世をあげて神様に逆らう時代が来ます。それから、反逆の人、すなわち地獄の子が現われます。4 彼は、神と名のつくものには、ことごとく反抗し、また、礼拝の対象をすべて打ちこわします。そして神殿に入って、神の座につき、自分こそ神だと宣言します。5 このことについては、そちらに滞在中、口をすっぱくして話しておいたはずですが、覚えていないのですか。6 あなたがたは、姿を現わそうとする彼を引き止めている者がだれであるかを知っているはずです。彼は定められた時が来るまで、出て来られないのです。7 この反逆と地獄の子が現われるきざしは、すでにあちこちに見られます。しかし、引き止めている者が身を引くまでは、姿を現わせません。8 時が来れば、いよいよこの悪の張本人が飛び出すことになりますが、主イエス様が来られ、御口の息によって、彼を焼き滅ぼしてしまわれます。9 この罪の子は、悪魔の手先であり、悪魔のあらゆる力を与えられて、やって来ます。不思議なわざを披露しては人々をだまし、すばらしい奇蹟を行なう者であるかのように見せかけるのです。10 こうして、真理を拒んで地獄への道に突っ走る者たちを、すっかり、とりこにしていまいます。そのような人たちは、真理を信じることも愛することもせず、まして救われようなどとは考えもしなかったのです。11 そこで神様は、彼らがうそで丸め込まれるままに放っておかれるのです。12 真理を捨てて、うそを信じ、罪を犯すことを楽しむ彼らに、さばきが下るのは、当然のことです。

13 しかし、主に愛されている皆さん。あなたがたのことを考えると、神様に感謝せずにはおられません。なぜなら、神様は初めから、あなたがたを救おうとしてお選びになり、聖霊様の働きと、真理に対するあなたがたの信仰によって、きよめてくださったからです。14 神様は私たちの口を通して、あなたがたに、このすばらしい知らせを語ってくださいました。そればかりか、主イエス・キリストの栄光を分け与えようと、招いてくださったのです。

15 愛する皆さん。これらのことを深く心にとめて、しっかり立ちなさい。そして、私たちが手紙で伝え、またそちらに滞在中に教えた真理を、失わないようにしなさい。

16 どうか、私たちを愛し、何の値打もない者に永遠の慰めと希望とを与えてくださった、主イエス・キリストと父なる神が、17 あらゆる励ましをもって、あなたがたを勇気づ

け、ことばと行ないとで、善を追い求めさせていただきますように。

三

1 愛する皆さん。 この手紙を書き終えるにあたって、お願いしたいことがあります。 どうか、私たちのために祈ってください。 主のことばが至る所で急速に広まって勝利を収め、あなたがたのところと同様、各地でも救われる人が続出するように祈ってください。

2 また、私たちが悪い連中の手から救い出されるように祈ってください。 すべての人が、主を愛しているわけではありませんから。 3 しかし、主は真実な方ですから、あなたがたに力を与え、悪魔のどんな攻撃からも守ってくださいます。 4 私たちは主に信頼しているので、あなたがたが、私たちの教えを現に実行しており、これからもその態度は変わらないと確信しています。 5 どうか、主の導きによって、神様の愛と、キリスト様の忍耐とを、あなたがたが、ますます深く理解しますように。

6 愛する皆さん。 ここで主イエス・キリストの名により、その權威を受けて命令します。 私たちが身をもって示した教えに従わず、ぶらぶらと日を過ごしているクリスチャンとは、絶交しなさい。 7 どういう生活をすればよいかは、もうよくわかっているはずです。 私たちは、そちらで、だらしのない生活をしたことはありません。 それを手本にしてください。

8 私たちは、だれからも、ただでパンをもらいませんでした。 人に負担をかけたくなかったのも、必要な物は、昼夜働いて得た収入で手に入れました。 9 私たちに、それを要求する権利がなかったからではなく、自分の生活は自分で支えるという模範を、身をもって示したかったからです。 10 そちらでも、「働かない者は食べる資格がない」という鉄則を、教えたはずです。

11 ところが、聞くところによると、あなたがたの中には、働くのをいやがり、一日中ぶらぶらして、うわさ話に花を咲かせている人がいるらしいですね。 12 そういう人たちに、主イエス・キリストの名によって忠告し、また命じます。 じっくり腰を落ち着けて、まじめに仕事に精を出し、自活できるようになりなさい。 13 それから、愛する皆さん。 あなたがたには、いつでも、生き生きと正しい行ないをしてほしいものです。

14 もし、この手紙の教えに聞き従わない者があれば、特に注意して、そんな人とは絶交しなさい。 自らそのことに気づいて恥じ入らせるためです。 15 その人を敵視してはいけません。 彼には、兄弟に対するような忠告が必要です。 16 どうか、どんな場合にも、平和の主が、あなたがたに平安を与えて、共にいてくださいますように。

17 この最後のあいさつは、私の自筆です。 どの手紙にもそうしています。 18 どうか、主イエス・キリストの祝福が、あなたがた一同にありますように。

パウロ

▪